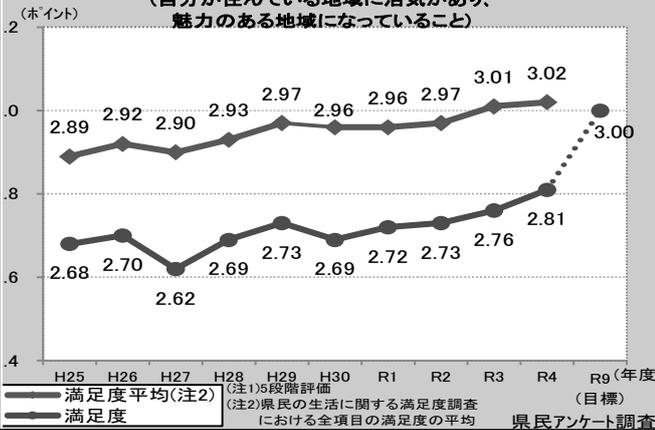


Ⅹ 爽やかな「都」をつくる

27 奈良モデルの実行

担当部局等： 知事公室、医療政策局、水循環・森林・景観環境部、地域デザイン推進局、水道局

政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和9年度までに「地域の活力に対する県民の満足度(自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること)」を3.00ポイントにします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
地域の活力に対する県民の満足度 (注1) (自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること)		H 25	R 4	R 4	97.4%	R 9
		2.68	+ 0.13 ポイント 2.81	2.89	②(90~100%)	3.00 (40.6%)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
令和4年度の地域の活力に対する県民の満足度は昨年度より0.05ポイント上昇し、4年連続で増加しています。進捗率は97.4%で、着実に満足度は向上しています。						
背景・要因等						
市町村同士または県と市町村の連携・協働により、地域活力の維持・向上等を目指す「奈良モデル」等に取り組んだことが、満足度が向上した要因の一つと考えられます。						



各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

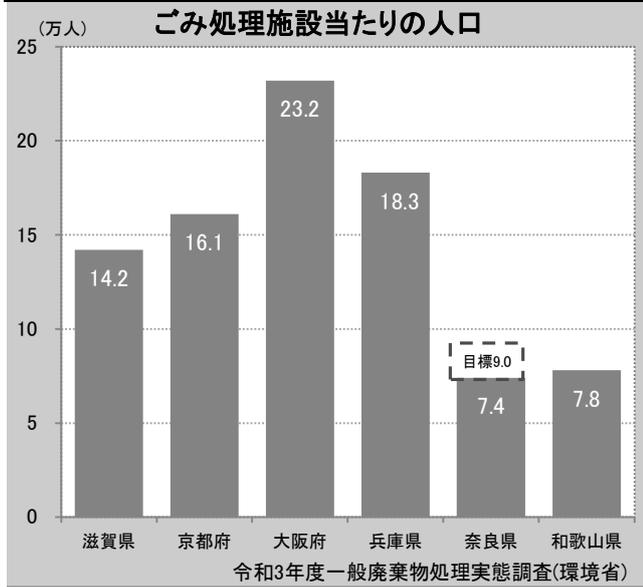
テーマ	(93) 市町村と連携したまちづくりの推進	責任者	地域デザイン推進局 まちづくり連携推進課長			
戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和6年度までにまちづくり基本計画策定地区数を20地区にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
まちづくり基本計画策定地区数[累計]		H 27	R 4	R 4	135.0%	R 6
		0	+ 21 地区 21	15.6	①100%以上	20 (105.0%)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
まちづくり基本計画策定地区数は、令和4年度に4地区増え、累計で21地区となり、令和6年度の目標(累計20地区)を達成しました。						
背景・要因等						
まちづくり基本計画については、市町村に対し、策定費用の1/2を県が補助する財政的支援や国補助制度などの事業メニューの紹介などの技術的支援を実施しています。						
R4年度の取組・成果						
宇陀市の「近鉄榛原駅周辺地区」、「宇陀松山周辺地区」、「うたの古市場周辺地区」、「室生寺門前および室生口大野駅周辺地区」の4地区でまちづくり基本計画を策定しました。						
関連指標			指標の動き			
まちづくり基本構想策定及び基本協定締結数[累計](地区)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
			35	36	38	38
個別協定締結数[累計](事業)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
			31	35	38	45

テーマ	(99) ごみ処理広域化奈良モデル
-----	-------------------

責任者	水循環・森林・景観環境部 環境政策課長
-----	------------------------

戦略目標(KPI)
 ごみ処理の広域化を進め、県内のごみ処理施設数を平成27年度時点の25施設から令和7年度に15施設まで削減します。

基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 27	R 3	R 3	97.1%	R 7
5.56 万人	+ 1.84 7.40 万人	7.62	②(90~100%)	9.00 (53.5%)



評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)
 ごみ処理施設数が25施設(平成27年度)から18施設(令和3年度)に削減した結果、1ごみ処理施設当たりの人口は、平成27年度5.56万人から令和3年度7.4万人と増加し、進捗率は97.1%となりました。

背景・要因等
 平成29年度にやまと広域環境衛生組合で施設統合しました。また、平成29年度に上牧町、田原本町で、平成30年度に吉野広域行政組合で施設を廃止、令和2年度に安堵町、明日香村で、令和3年度に広陵町で施設を廃止しました。(計7施設減)

R4年度の取組・成果
 市町村が連携して実施するごみ処理施設の整備に対して、令和4年度は計9市町村に補助を実施しました。県からの技術・財政支援を受け、市町村が連携して実施するごみ処理施設の整備が進み、施設の削減につながっています。

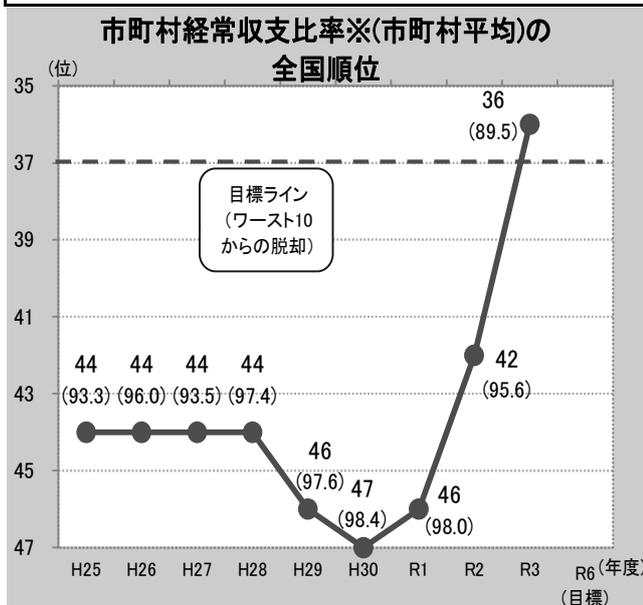
関連指標	指標の動き			
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
ごみ処理広域化補助延べ市町村数[累計](市町村)	72	89	99	108

テーマ	(100) 市町村財政健全化・財政支援の検討
-----	------------------------

責任者	知事公室 市町村振興課長
-----	-----------------

戦略目標(KPI)
 令和6年度までに市町村経常収支比率(市町村平均)を全国ワースト10から脱却します。

基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 25	R 3			R 6
順位 44	+ 8 36			ワースト 10からの 脱却
比率 93.3	- 3.8 89.5 ポイント			



評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)
 令和3年度の市町村経常収支比率(市町村平均)は前年度より6.1ポイント改善したことで全国36位に上がり、目標値を達成しています。

背景・要因等
 財政健全化の取組について助言を行うなど、引き続き県内市町村の行財政改革の推進等に対する支援に取り組んできました。令和3年度決算においては、地方交付税の増加等により経常収支比率が大きく改善した結果、順位が上昇しました。

R4年度の取組・成果
 令和2年度に複数の主要財政指標が県内でワースト5となった5市町に対し、特に緊急を要する財政状況にあるとして「重症警報」を発令しました。令和4年度は発令された5団体と合同勉強会等を実施しました。市町村の財政状況は改善基調にあり、経常収支比率が100%を上回る団体は0となりました。

関連指標	指標の動き			
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
経常収支比率が全国平均より低い市町村数(団体)	8	11	17	21
奈良県・市町村長サミットの開催回数[累計](回)	R1年度 63	R2年度 66	R3年度 69	R4年度 72

数値目標が設定されていないテーマ等の進捗状況

テーマ	(94) 近鉄郡山駅周辺のまちづくり	責任者	地域デザイン推進局 まちづくり連携推進課長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和4年度に県、大和郡山市、近鉄の三者協定締結、令和5年度に近鉄郡山駅移設の事業化を目指します。		令和5年2月に駅移設に係る役割分担・費用負担等について定めた基本協定を、県、大和郡山市、近鉄の三者で締結しました。	

テーマ	(95) 県立医科大学周辺のまちづくり	責任者	地域デザイン推進局次長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和6年度の新キャンパス先行整備完了と令和7年度の医大周辺まちづくり整備着手を目指します。		令和7年度中の新キャンパス移転・開学を目指し、先行整備を進めています。また、まちづくりに関する取組を推進するため、令和4年11月29日に、県、医科大学、橿原市、近鉄の4者で連携協定を締結し、検討を進めています。	

テーマ	(96) 王寺駅周辺のまちづくり	責任者	地域デザイン推進局長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和4年度の西和医療センターの移転・再整備方針決定に合わせて、王寺町と協働でJR王寺駅周辺のまちづくりを進めていきます。		【R5予算執行査定の結果:西和医療センターの移転・再整備について、JR王寺駅南側に加え、他の候補地も含めて比較・検討を行うこととなったため、その結果を踏まえ、戦略目標を改めて検討します。】	

テーマ	(97) 奈良県総合医療センター跡地のまちづくり	責任者	医療政策局次長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和4年度までに建物除却を完了し、地域包括ケアの拠点づくりをコンセプトとした新たなまちづくりの整備に着手します。		地下水や地下埋設物の影響で工期を4ヶ月延長しましたが、令和5年6月末に建物除却が完了しました。 【R5予算執行査定の結果:跡地の活用について、関係者と協議しながら検討を行ったうえで、戦略目標達成を目指します。】	

テーマ	(98) 県域水道ファシリティ・マネジメント	責任者	水道局県域水道一体化準備室長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
【上水道エリア】令和7年度までに市町村水道と県営水道を統合します。		令和5年2月に、県及び関係市町村等の長により、一体化後の運営方針である基本計画に合意・策定するとともに、「水道事業等の統合に関する基本協定」を締結しました。	
【簡易水道エリア】令和6年度の公営企業会計の適用を目指し、広域的な共同管理体制に関する取組を推進します。		公営企業会計の適用に向け、経費・事務負担の軽減とともにシステム共通化による知識・ノウハウの共有を図るため、会計システムの導入や例規整備について県において一括発注を行いました。	

IX 爽やかな「都」をつくる

28 行政マネジメント

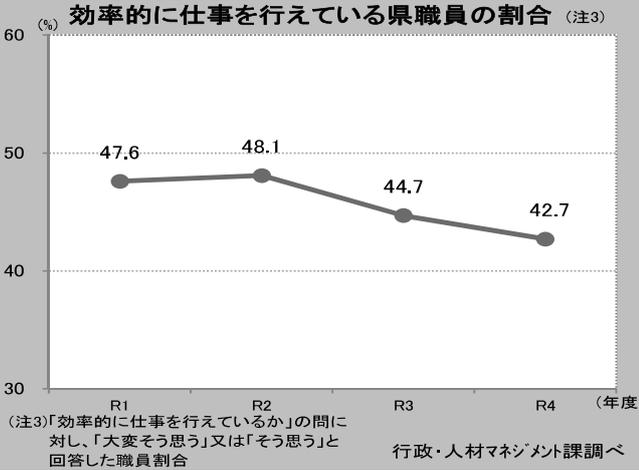
担当部局等：総務部

政策目標(KGI)	基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
			目安値(b)	進捗率(a/b)	
職員がやりがいを持っていきいきと働くことができ、自身の成長を実感できる「人が育つ組織」として、県庁での働き方に満足している職員が令和4年度に66.7%以上となり、県民サービスの向上につながることを目指します。	R 1	R 4	R 4	75.0%	R 4
	54.9	- 4.9 ポイント	50.0	66.7	③90%未満 (基準値未満)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)					
<p>県職員の県庁での働き方に対する満足度 (注)</p> <p>県庁での働き方に満足している職員の割合は、前年度より3.4ポイント減少して50.0%となり、目標値を達成することが出来ませんでした。</p> <p>背景・要因等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により業務が増大する中、仕事の進め方・効率性に課題を感じている職員が多く、数値の低下に繋がったと考えられます。</p>					

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

テーマ	(101) 県庁版働き方改革の実行	責任者	総務部 行政・人材マネジメント課長	
戦略目標(KPI)				
働き方改革の4本柱の取組(時間管理、業務管理・改善、健康管理、多様で柔軟な働き方)を進め、令和4年度に職員の50.0%以上が仕事の進め方等に良い変化を感じられるようにします。	基準値	実績値(a)	進捗状況	目標値 (達成率)
	R 1	R 4	R 4	75.2%
42.2	- 4.6 ポイント	37.6	50.0	③90%未満 (基準値未満)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)				
<p>仕事の進め方等に良い変化を感じている県職員の割合 (注)</p> <p>仕事の進め方に良い変化を感じている職員の割合は、前年度より1.5ポイント減少して37.6%となり、目標値を達成することが出来ませんでした。</p> <p>背景・要因等</p> <p>「組織が慣習から抜け出せず変化できていない」をはじめ、職員の意識や業務のあり方に課題を感じている職員が多いためと考えられます。</p> <p>R4年度の取組・成果</p> <p>庁内働き方改革推進プロジェクトチームを開催し、定期的に意見交換を行いました。また、職員一人ひとりが、やりがいを持って、健康でいきいきと働ける良い職場を実現するため、令和5年3月に「地域において良い人材を集め育成することを旨とした良い職場づくりの推進に関する条例」を制定しました。</p>				

戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
「仕事の見直し・業務改善」の取組(職員端末のモバイル化の推進やAI・RPA(注1)等の活用、BPR(注2)を通じた業務効率化等)を進め、令和4年度に職員の50.0%以上が効率的に仕事を行えるようにします。 (注1)RPA…Robotic Process Automationの略。パソコンのマウスやキーボード操作のソフトウェアによる自動化。 (注2)BPR…Business Process Re-engineeringの略。業務フローの再構築。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
R1			R4	R4	85.4%	R4
47.6		-4.9 ポイント	42.7	50.0	③90%未満	50.0 (基準値未満)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
効率的に仕事を行っている職員の割合は、前年度より2.0ポイント減少して42.7%となり、目標値を達成することが出来ませんでした。						
背景・要因等						
「組織の体質」や「他律的業務の多さ」、「非効率な業務フロー」などに課題を感じている職員が多く、数値の低下に繋がったと考えられます。						
R4年度の取組・成果						
ICT技術による業務効率化、ユーザーである住民目線での行政サービスの組み直し等による生産性向上に取り組みました。						

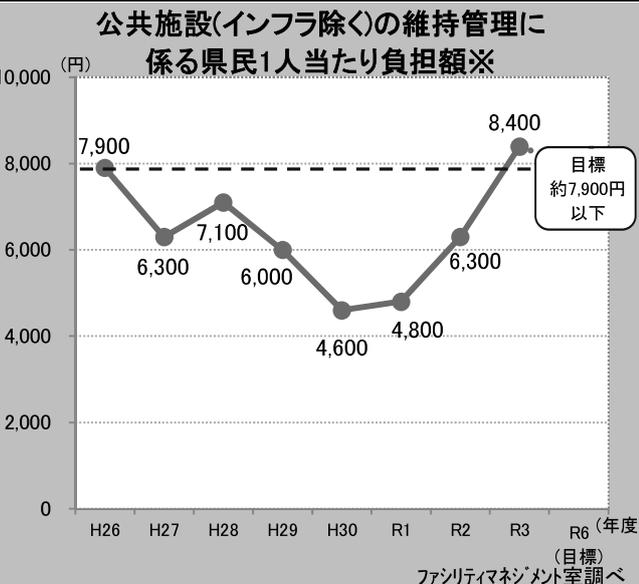


関連指標	指標の動き			
1月あたりの超過勤務時間が30時間を超える職員の割合※(%)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	11.1	15.7	18.5	17.9
職員1人あたりの年次有給休暇取得日数(日)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	12.3	11.5	12.3	12.6

※は数値が低い方が良くなる指標です。

テーマ (102) 県有資産のファシリティマネジメント (維持・管理・活用)	責任者 総務部 ファシリティマネジメント室長
--	---------------------------

戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和6年度に公共施設の維持管理に係る県民1人当たりの負担額を約7,900円以下にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
H26			R3	/		R6
7,900		+500 円	8,400			約7,900 円以下
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
公共施設(インフラ除く)の維持管理経費に係る県民1人当たり負担額は、平成26年度の基準年度以降、目標値よりも低い金額で推移していましたが、令和3年度は7,900円を超えました。						
背景・要因等						
公共施設の選択と投資の集中を推進するため実施している資産評価の結果を踏まえ、利用を続ける資産のみ更新・改修工事を実施し、維持管理に係る費用を抑制しています。令和3年度は高等学校の耐震化に伴う建替が集中し、負担額が増加しました。						
R4年度の取組・成果						
県有施設の耐震化を推進するとともに、低未利用となった資産については、14資産の売却を行いました。						



関連指標	指標の動き			
県有建築物の耐震化率(%)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	93	95	96	97
低未利用県有資産の数※[累計](資産)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	92	89	95	92

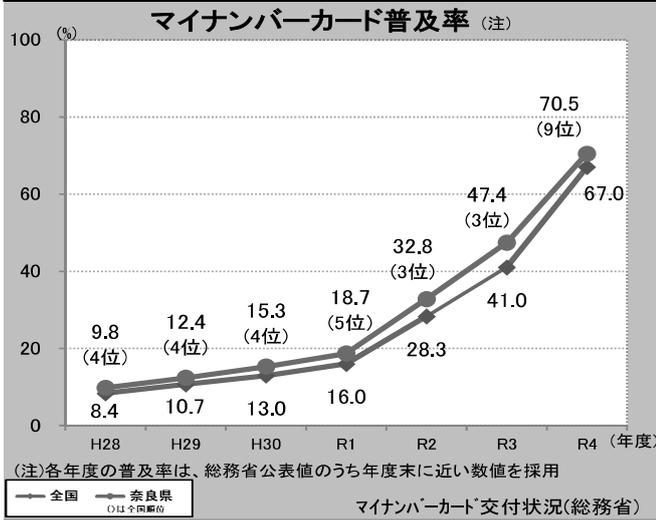
※は数値が低い方が良くなる指標です。

テーマ	(103) 地域デジタル化の推進
-----	------------------

責任者	総務部 総務部理事(デジタル戦略担当)
-----	------------------------

戦略目標(KPI)	
オンライン申請や添付書類の削減等、行政手続の効率化につなげるため、その基盤となるマイナンバーカードの普及に取り組む市町村を支援し、令和4年度に、マイナンバーカード普及率を100%にします。	

基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 28	R 4	R 4	70.5%	R 4
9.8	+ 60.7 ポイント 70.5	100	③90%未満	100 (67.3%)



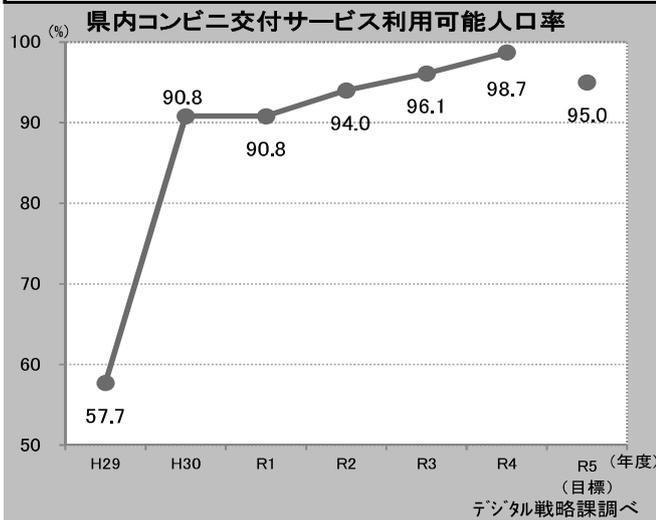
令和4年度のマイナンバーカード普及率は70.5%(全国9位)となり、全国平均を継続して上回りました。順調に伸びていますが、目標値を達成することが出来ませんでした。

背景・要因等
 国が実施していたマイナポイント事業の延長等の普及促進により、全国的にマイナンバーカード普及率が上昇したことに加え、県では市町村と連携して県民に対する普及促進に取り組みました。

R4年度の取組・成果
 市町村と連携し、県内企業、県内商業施設、新型コロナワクチン接種会場、運転免許センター等において、マイナンバーカードの出張申請受付を実施し、3,366人の申請受付を行いました。

戦略目標(KPI)	
行政の効率化と住民の利便性向上につなげるため、マイナンバーカードを活用して住民票等をコンビニ交付する市町村を増やし、令和5年度に、県内コンビニ交付サービス利用可能人口率を95.0%以上にします。	

基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 29	R 4	R 4	111.2%	R 5
57.7	+ 41.0 ポイント 98.7	88.8	①100%以上	95.0 (109.9%)



順調に参加市町村が増え、令和3年度に目標値である95%以上を達成し、令和4年度も引き続き増加することが出来ました。

背景・要因等
 新型コロナウイルス感染症対策のため、証明書の非対面取得ニーズやマイナンバーカードの普及率の上昇に伴う住民の利便性向上の必要性が高まっており、令和4年度以降、新たに3団体がコンビニ交付サービスを導入する等、端末の設置が進みました。

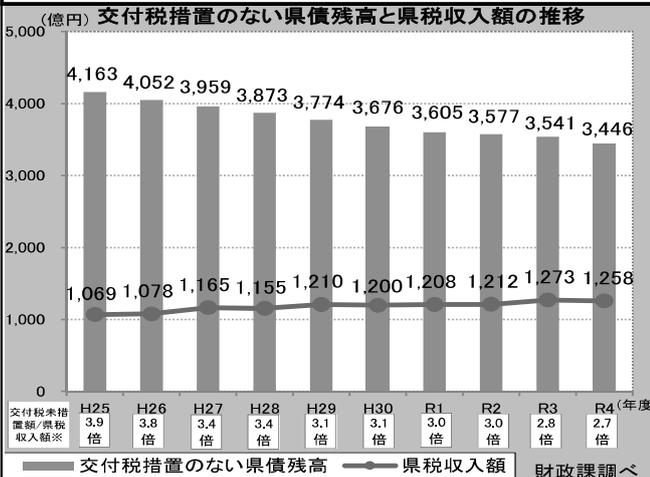
R4年度の取組・成果
 コンビニ交付サービスの導入を進める市町村が国庫補助金を活用できるよう相談・調整等の市町村支援に取り組んだことにより、令和4年度も継続して目標値を上回っています。

IX 爽やかな「都」をつくる

29 財政マネジメント

担当部局等：総務部

政策目標(KGI)	基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
			目安値(b)	進捗率(a/b)	
「交付税措置のない県債残高/県税収入額」の比率を3倍程度に維持します。	R 3	R 4			3倍程度を維持
	2.8	- 0.1 ポイント 2.7			
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>令和4年度における「交付税措置のない県債残高/県税収入額」は、令和3年度より0.1ポイント減少して2.7倍となり、目標を達成しました。</p>					
<p>背景・要因等</p> <p>事務事業の見直しや有利な財源の確保を図るとともに、県債の発行にあたっては、交付税措置のある有利な県債を活用したこと等により、目標を達成しています。</p>					

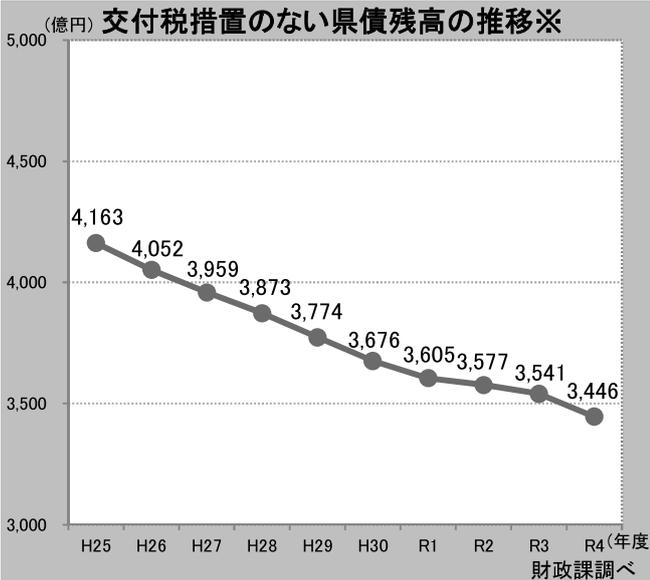


※は数値が低い方が良くなる指標です。

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

テーマ	(104) 県財政中長期運用方針と県債の管理	責任者	総務部 財政課長
-----	------------------------	-----	-------------

戦略目標(KPI)	基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
			目安値(b)	進捗率(a/b)	
交付税措置のない県債残高を減らします。	H 25	R 4			県債残高の減少
	4,163	- 717 億円 3,446			
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>令和4年度における「交付税措置のない県債残高」は、平成25年度から717億円減少して3,446億円となり、目標を達成しました。なお、平成25年度以降、毎年度減少し続けています。</p>					
<p>背景・要因等</p> <p>有利な財源の確保とともに、県債の発行にあたっては、交付税措置のある有利な県債を活用したことにより、目標を達成しています。</p>					
<p>R4年度の取組・成果</p> <p>令和4年度における新規の県債発行にあたっては、一般単独事業債等の交付税措置のない県債の発行を抑制し、交付税措置のあるものを優先した結果、県債残高が減少しました。</p>					



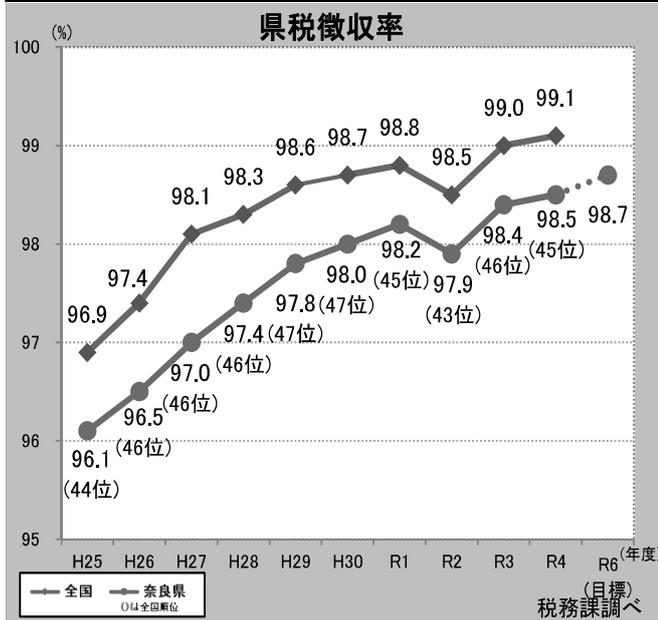
※は数値が低い方が良くなる指標です。

関連指標	指標の動き			
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
県税収入額(億円)	1,208	1,212	1,273	1,258

テーマ	(105) 税徴収率向上と適正課税推進
-----	---------------------

責任者	総務部 税務課長
-----	-------------

戦略目標(KPI)	
令和6年度までに県税徴収率を98.7%にします。	



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 25	R 4	R 4	100.3%	R 6
96.1	+ 2.4 ポイント 98.5	98.2	①100%以上	98.7 (92.3%)

評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)
令和4年度の徴収率は98.5%となり、令和2年度を除き、毎年度上昇しています。今後も経済動向の影響は不可避であるものの、進捗率は100%を超え目標達成へ向け順調に推移しています。

背景・要因等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等を鑑み徴収猶予の特例制度等が措置されたため、徴収率の落ち込みが見られました。令和3、4年度は市町村支援の成果等により個人県民税の徴収率が向上したことで、県税全体の徴収率も向上しました。

R4年度の取組・成果
多様な県税納付手段(コンビニ、スマートフォンでの収納等)を提供することで、令和4年度の自動車税種別割納期内納付率が全国1位の91.38%となりました。また、税の滞納整理として、財産の差押を実施し、滞納税に充当しました。

関連指標	指標の動き			
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
個人県民税徴収率(%)	97.1	97.1	97.4	97.5
自動車税種別割徴収率(%)	98.6	98.9	99.2	99.3